

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：管理不良な空き地の勧告件数	指標の求め方：管理不良な空き地の所有者に雑草の処理を勧告した件数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：勧告に対する雑草処理の割合	指標の求め方：勧告した件数に対し、雑草が処理された件数の割合

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期 総合計画 合計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	
指標	活動指標 1 (単位/件)	計画値 実績値	30 26	30 38	30 43		30 30	30 30	30 30		30 30	30 30	30 30	30 30	
	成果指標 1 (単位/%)	計画値 実績値	62 69	64 75	66 67		68 70	70 72	72 72		74 76	76 78	78 80	80 80	
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている										
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)				少し上がっている										
	事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない										
	総合評価				良好である										
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を上回った。今後も未実施の所有者に対しさらに早期に依頼していく。	自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を上回った。今後も未実施の所有者に対しさらに早期に依頼していく。	自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を下回った。今後も未実施の所有者に対しさらに早期に依頼していく。	判断理由： 砂川市衛生組合や各町内会と連携しながら活動を行い、市内の環境美化に一定の成果を上げていることから良好と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
今後の方向性				現状のまま継続											
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)	R5： 砂川市衛生組合や各町内会と連携しながら当事業を実施しており、市内の環境美化に一定の成果をあげていることから今後も当事業の継続は必要であると判断される。				R8：				R10：						

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：衛生組合美化活動回数	指標の求め方：衛生組合美化活動の回数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：美化活動参加者数	指標の求め方：美化活動延人数

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	総合計 合計
指標	活動指標 1 (単位/回)	計画値 実績値	4 3	4 4	4 3		4 4	4 4	4 4		4 4	4 4	4 4	4 4		
	成果指標 1 (単位/人)	計画値 実績値	220 194	220 240	230 200		230 230	240 240	240 240		250 250	250 250	260 260	260 260		
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている										
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					少し上がっている										
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					変わらない										
	総合評価					良好である										
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 砂川市衛生組合の事業予算の範囲内で計画に基づいた事業が実施された。各事業には町内会の衛生支部長や各種団体から多くの参加があり、活発な環境美化活動になっているが、春季飛散ごみ回収や各種会議が新型コロナウイルスの影響により中止となり、参加者が昨年と比べ減少した。	自己分析： 砂川市衛生組合の事業予算の範囲内で計画に基づいた事業が実施された。各事業には町内会の衛生支部長や各種団体から多くの参加があり、活発な環境美化活動になっているが新型コロナウイルスの影響により中止となり、参加者が昨年と比べ増加した。	自己分析： 砂川市衛生組合の事業予算の範囲内で計画に基づいた事業が実施された。各事業には町内会の衛生支部長や各種団体から多くの参加があり、活発な環境美化活動になっているが、秋季ごみ拾いが北光公園でのヒゲマ出沒により中止になり、参加者が昨年と比べ減少した。	判断理由： 砂川市衛生組合は、砂川市の清掃美化活動の中心を担っている組織であり、数多くの事業をボランティアで実施し、市内の環境美化に多大な貢献がある事から良好と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：		
今後の方向性					現状のまま継続											
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)	R5： 砂川市衛生組合は市民が自主的に砂川市の清掃美化活動の中心を担っている組織であり、実施している事業は市内の環境美化に多大な貢献がある事から補助金交付の継続が必要である。					R8：					R10：					

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：巡回パトロール実施日数	指標の求め方：巡回パトロールを実施した日数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：不法投棄物回収量	指標の求め方：不法投棄物を回収した量

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期	
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	総合計 合計
指標	活動指標 1 (単位/日)	計画値 実績値	140 140	140 140	140 140		140 140	140 140	140 140		140 140	140 140	140 140	140 140		
	成果指標 1 (単位/kg)	計画値 実績値	4,000 1,270	3,900 2,660	3,800 1,250		3,700 1,270	3,600 2,660	3,500 1,250		3,400 1,270	3,300 2,660	3,200 1,250	3,100 1,250		
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている										
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					少し上がっている										
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					変わらない										
	総合評価					普通である										
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 監視カメラや不法投棄禁止の看板の設置や効果的な監視パトロールの実施等を引き続き行い、不法投棄防止対策の強化を図る予定である。	自己分析： 監視カメラや不法投棄禁止の看板の設置や効果的な監視パトロールの実施等を引き続き行い、不法投棄防止対策の強化を図る予定である。	自己分析： 監視カメラや不法投棄禁止の看板の設置や効果的な監視パトロールの実施等を引き続き行い、不法投棄防止対策の強化を図る予定である。	判断理由： 不法投棄物の回収及び処理は適正に行われている事から普通と判断したが、家電の投棄件数は減少傾向にあるものの根絶することは難しいと思われるので、引き続き対策が必要である。	自己分析： 自己分析： 自己分析：	判断理由： 自己分析： 自己分析：	自己分析： 自己分析： 自己分析：	判断理由： 自己分析： 自己分析：	自己分析： 自己分析： 自己分析：	自己分析： 自己分析： 自己分析：	自己分析： 自己分析： 自己分析：	自己分析： 自己分析： 自己分析：	判断理由： 自己分析： 自己分析：		
今後の方向性					現状のまま継続											
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)	R5： 不法投棄が大きく減少しない状況であることから、監視カメラや防止看板の設置箇所や数について検討を続けて行い、不法投棄抑制に向けて常に対策していくことが必要である。					R8： R10：					R10：					

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名: 合同墓年間収容数	指標の求め方: 合同墓へ埋葬した収容数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名: 墓地区画使用許可率	指標の求め方: 墓地における区画使用を許可した割合

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期	
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	総合計 合計
指標	活動指標 1 (単位/体)	計画値 実績値	50 47	50 82	50 85		50	50	50		50	50	50	50		
	成果指標 1 (単位/%)	計画値 実績値	89.2 89.5	89.3 89.7	89.4 89.7		89.5	89.6	89.7		89.9	90.0	90.2	90.3		
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている										
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					変わらない										
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					変わらない										
	総合評価					良好である										
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析: 使用許可の件数は予定よりも多くなっている。施設設備の軽易な破損の補修や支障木の剪定については、委託の中でシルバー人材センターが行っているが、利用に支障がないか全体的な設備の点検を行っていく必要がある。	自己分析: 使用許可の件数は予定よりも多くなっている。施設設備の軽易な破損の補修や支障木の剪定については、清掃管理委託の中で行っているが、排水や通路、法面など全体的な施設の点検を行っていく必要がある。	自己分析: 使用許可の件数は予定よりも多くなっている。施設設備の軽易な破損の補修や支障木の剪定については、清掃管理委託の中で行っているが、排水や通路、法面など全体的な施設の点検を行っていく必要がある。	判断理由: 一般墓地区画及び合同墓の利用数は順調に増加しており、良好と判断した。	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:		
今後の方向性					現状のまま継続											
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)	R5: 空き区画に繁茂した樹木が、使用に支障をきたす状態になっている例が散見されていることから、剪定や伐採などを行い対策していくことが必要である。					R8:					R10:					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×
--------	---	--------	---

事業名	公害防止対策事業				事業期間	— 年度 ~ — 年度										
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	2-2-3	他に関連する基本事業	—	—	—	—	—	—	—	所管課係	市民生活課生活交通係
目的 (何のために実施するのか)	公害防止のため、市内の河川の水質、自動車による騒音・交通量を調査分析し、快適な環境下での市民生活の向上を図る。					手段 (どのような方法で実現するのか)		市内における河川水、自動車騒音について、調査・分析の委託（河川水～年1回、自動車騒音～年1回）。騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法に基づく規制地域の指定（変更）事務。 法令の定めによる各種届出書の受理。公害に関する苦情の解決。								
対象 (誰・何を対象としているのか)	市内の河川及び道路（国道、道道）、市内事業者及び市民					成果 (どのような効果が得られるのか)		河川の水質や自動車騒音が環境基準と比較してどのような状況にあるかを把握し、公害関係法令の遵守による環境の保全や、公害に関する苦情を解決することにより、快適な環境下での市民生活の向上が図られる。								
事業開始時の状況・これまでの経緯	環境保全に関する調査を実施し、情報の管理及び提供が必要である。河川水の水質、自動車騒音の調査分析を実施している。行政改革では、平成17年度より水質調査箇所数の削減、自動車騒音調査を2日から1日に削減、隔年で実施していた大気汚染調査を廃止、さらに、平成20年度から委託料を5%削減している。															

【DO】

実績

(単位：円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期 総合計画 合計	
		第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)		実施4カ年 合計
投 入 さ れ た 事 業 費 の 推 移	国 道	費													
		計 画 額	0												
		予 算 計 上 額	0												
		実 績 額	0												
		費													
		計 画 額	0												
	予 算 計 上 額	0													
	実 績 額	0													
	地 方 債	計 画 額	0												
		予 算 計 上 額	0												
		実 績 額	0												
	そ の 他	計 画 額	0												
予 算 計 上 額		0													
実 績 額		0													
一 般 財 源	計 画 額	995,000	995,000	995,000	2,985,000	1,316,000	1,316,000	1,316,000	3,948,000	1,316,000	1,316,000	1,316,000	1,316,000	5,264,000	12,197,000
	予 算 計 上 額	995,000	995,000	995,000	2,985,000	1,316,000			1,316,000					0	4,301,000
	実 績 額	651,200	816,200	849,200	2,316,600				0					0	2,316,600
事 業 費 合 計	計 画 額	995,000	995,000	995,000	2,985,000	1,316,000	1,316,000	1,316,000	3,948,000	1,316,000	1,316,000	1,316,000	1,316,000	5,264,000	12,197,000
	予 算 計 上 額	995,000	995,000	995,000	2,985,000	1,316,000	0	0	1,316,000	0	0	0	0	0	4,301,000
	実 績 額	651,200	816,200	849,200	2,316,600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,316,600
事 業 費 予 算 の 内 容		13箇所水質調査 143,000円 自動車騒音常時 監視事業 852,000円	13箇所水質調査 143,000円 自動車騒音常時 監視事業 852,000円	13箇所水質調査 143,000円 自動車騒音常時 監視事業 852,000円		13箇所水質調査 143,000円 自動車騒音常時 監視事業 1,173,000円									
	前年度予算との比較 (増減理由)	前年度同額				自動車騒音常時監視事業委託料の増。									
	実績との比較 (増減理由)	主に自動車騒音常時監視事業の入札減。 3月補正 △343千円				主に自動車騒音常時監視事業の入札減。 3月補正 △178千円									

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：公害調査箇所数	指標の求め方：調査箇所数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：生活公害に関する苦情	指標の求め方：苦情件数

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期
		第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	総合計 合計
指標	活動指標 1 (単位/箇所)	計画値 17	実績値 17	計画値 17	実績値 17	17	17	17	17	17	17	17	17		
	成果指標 1 (単位/件)	計画値 0	実績値 2	計画値 0	実績値 3	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている										
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)				あまり上がっていない										
	事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない										
	総合評価				普通である										
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 自動車騒音常時監視について、今回調査した区間では環境基準値を超えておらず、快適な生活環境が維持されている。今後も自動車騒音の状況を把握するとともに、警察署などとも連携し啓発活動に努めていきたい。	自己分析： 自動車騒音常時監視について、1区間において環境基準値を超える結果となったが、公安委員会に対応を要請する要請限度を超えてはいない。今後も自動車騒音の状況を把握するとともに、警察署などとも連携し啓発活動に努めていきたい。	自己分析： 自動車騒音常時監視について、今回調査した区間では環境基準値を超えておらず、快適な生活環境が維持されている。今後も自動車騒音の状況を把握するとともに、警察署などとも連携し啓発活動に努めていきたい。	判断理由： 事業の成果は自動車騒音の状況から上記のとおり評価したが、自動車騒音は要請限度を超えてはおらず、また、他の指標は計画値を満たしていることから、総合的には「普通である」と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
今後の方向性				現状のまま継続											
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)	R5： 事業の実施方法には改善の余地がないと考えられるため、今後の方向性は「現状のまま継続」と判断した。自動車騒音常時監視において国道12号を中心に環境基準値を超えている区間があることについて、道路の改良工事が行われて騒音が軽減されていると考えられるが、今後もスピードダウンなどを呼び掛けて騒音の軽減を図ってきたい。				R8：				R10：						